

令和7年度より、全員に配布を開始した年代が小学1年生になったため、小学校の先生方へのえみふるふぁいるの周知、小学校と発達支援事業者などとの連携におけるえみふるふぁいるの活用を推進することを重点に関係機関向け説明会を充実させた。

## 1. 【関係機関向け説明会】

## 2. 【配布状況 (R8.2月末時点)】

| 日時   | 対象   | 内容  |
|------|--|---|
| R7.5 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校<br/>(小、中、義務教育、市立高校)<br/>特別支援教育推進委員会にて</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「えみふるふぁいる」の概要(対象、配布時期など)の説明</li> <li>全員もっている年代の入学～<b>学校での活用のスタート時期であることを強調</b></li> <li>身体測定など紙の配布物は積極的にえみふるふぁいるを活用するよう依頼</li> </ul> |
| R8.1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校<br/>(小、中、義務教育、市立高校)</li> <li>発達支援事業所<br/>事業所と学校の交流会にて</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭－教育－福祉の“連携”のため、こども家庭センターと教育委員会で合同開催した交流会で“<b>連携</b>”のためのツールとして「えみふるふぁいる」の活用を勧める</li> </ul>   |
| R8.3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>発達支援事業所<br/>事業所部会にて</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「えみふるふぁいる」から“情報を得る”だけでなく、ご本人の将来のために関係機関が「えみふるふぁいる」に“<b>情報を残す</b>”という視点をもってもらえるよう啓発</li> </ul>  |

| 種別       | 配布数 | 配布状況                    |
|----------|-----|-------------------------|
| 1歳6か月児健診 | 256 | 全員配布                    |
| 3歳児健診    | 55  | 転入・兄弟・紛失                |
| 来所       | 8   | こども家庭センターに来所(転入・兄弟・紛失等) |
| 相談       | 3   | こども家庭センター相談員から勧めた       |
| その他      | 15  | 関係機関が配布                 |
| 合計       | 337 |                         |

## 3. 【アンケート結果】

### (ア) 保護者向けアンケート ※令和6年実施分

- 3歳児健診で実施 (R4年度～)
- 受診者の75.9%が回答
- 1歳6か月児健診の配布から3歳児健診までの間に、なくさずに「**持っている**」と答えた人の割合は**76%**で、**R4の64%と比べて上がっている**。
- 活用している人は33.6%で、主な活用方法は、「成長の記録」「写真や作品の保管」「通院歴などの記録」「保育園や幼稚園での記録」など。

### (イ) 関係機関向けアンケート ※令和7年度実施分 対象:学校・発達支援事業所

- 「えみふるふぁいる」を**知っている**と答えた人の割合は**79%**
- 「えみふるふぁいる」を活用していると答えた割合は**22%**
- 主な活用方法  
面談で持参を呼び掛けている／個別支援計画書を綴ってもらっている  
通級指導開始時に見せてもらっている／保護者の側から見せてくれた
- その他の声  
小中の引継ぎで活用したい／“すべてのこども”が対象なのがよい  
転入者にも渡せるようにしたい